



2019年9月9日
富国生命保険相互会社

齊藤工さん発案の移動式映画館プロジェクト 『cinéma bird』への協力について

富国生命保険相互会社（社長：米山好映）は、100周年プロジェクトの一環として、2019年9月15日（日）に北海道^{ゆうふつ}勇払郡むかわ町で開催される齊藤工さん発案の移動式映画館プロジェクト『cinéma bird（シネマバード）』に協力することをお知らせします。

※齊藤工さんは、俳優業以外の活動は「齊藤工」名義を使用されています。

2023年に創業100周年を迎える富国生命では、100周年に向けた富国生命像「THE MUTUAL（ザ・ミューチュアル）」というコンセプトのもと100周年プロジェクトに取り組んでいます。

富国生命では齊藤工さんを「THE MUTUAL」アンバサダーに起用しており、これまでテレビCMや100周年特設WEBサイトを通じて「THE MUTUAL」を伝えてきました。今般の『cinéma bird』への協力では、「劇場体験の少ない子どもたちや映画館のない地域の人たちに“同じ空間で感動を共有する大切さを伝えたい”という齊藤工さんの考えに賛同し、富国生命職員がボランティアスタッフとして参加します。

『cinéma bird』の活動を応援することを通じて、富国生命が考える“相互扶助”のあり方を伝えていきたいと考えています。

当日の様子は、『cinéma bird』公式ホームページのほか、100周年特設WEBサイトでも公開予定です。

富国生命 100周年特設WEBサイト(<https://fukoku100.jp/anniversary/>)

『cinéma bird』公式ホームページ(<https://cinemabird.com/>) ※開催概要はこちらでご確認ください。

【100周年プロジェクトとは】

1923年に相互会社として創業した富国生命は2023年に100周年を迎えます。100周年プロジェクトでは、富国生命が脈々と受け継いできた“相互扶助”の過去、現在、そして未来を発信し、富国生命への共感の輪を大きく広げていくことで、100周年を迎えた時、富国生命に関わるすべての人と笑顔で共感しあえる会社となることを目指します。

【『cinéma bird』とは】

齊藤工さん発案の『cinéma bird』は、劇場体験の少ない子どもたちや映画館のない地域の人たちに、同じ空間で感動を共有する劇場体験を届けることを目的に2014年より始動したプロジェクトです。過去には、宮城県石巻市、福島県双葉郡広野町、福島県南相馬市、大分県豊後大野市、熊本県山鹿市、沖縄県うるま市で開催されており、今回で第7回目を迎えます。

『cinéma bird』コンセプト



小さな島々を含め日本中から映画館が減っています。
震災などによって映画館がなくなってしまった地域もあります。

劇場体験をしないまま大人になっていく子どもたち。
劇場で映画を見ることがなくなってしまった大人たち。

『cinéma bird』はそんな地域の人たちに
同じ空間で感動を共有する大切さを伝えるために
映画+ライブというフェスティバルのような体験を
鳥のように自由に届けるプロジェクトです。



『cinéma bird』公式ホームページより